

2024年6月10日  
第一工業製薬株式会社

2024年3月期 通期 決算説明会 主な質疑応答  
(開催日：2024年6月5日 場所：当社東京本社セミナールーム(リアル&WEB 配信))

Q1：機能材料セグメントについて、前期は赤字を計上したにも関わらず、第3Qから急激に収益性が改善している。ハイエンドサーバ向けの販売が好調なことも要因のようだが、難燃剤の販売状況と合わせて教えてほしい。

A1：光硬化樹脂材料の販売が急激に伸長したことが、収益を大幅に改善した要因である。難燃剤は中国市況の低迷が大きく影響しており、今期についても改善の幅は限定的になりそうである。

Q2：光硬化樹脂材料の工場稼働率についてはどうか。未だ生産に余裕はある状態なのか。

A2：足元ではかなり余裕が無くなってきている。対象設備がキャパオーバーとなった場合は、協力会社へお願いする予定である。

Q3：岩盤固結材の鉄道大型物件について、今期は前年対比で伸びる予定はあるのか。

A3：今期については未だ大きく伸びる予定はなく、需要が期待される工区の進展には時間を要する見込みである。

Q4：ライフサイエンスの業績は改善していないが、今期はどのような見通しか。

A4：前期に上市した消臭・除菌スプレーの販売が高級ホテルを中心に伸びてきている。また、広告宣伝も打っており、費用対効果を分析しながら見極めを行っていく。

Q5：冬虫夏草の販売は、どこかのタイミングで急激に販売が伸びる見込みはあるのか。

A5：B2B および B2C に向けて開発を推進しているが、売上の拡大や伸長には時間を要している。

以上